

# DRY-CABI-GB

## GLOVE-BOX DRY-CABI-GB の特長



全品特注仕様：脱水分装置標準装備、窒素仕様、HEPAフィルター仕様、高湿仕様など

### 全品特注仕様

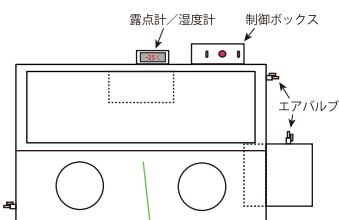
ご希望の材質、形状、サイズに合わせて製作いたします。

### 脱水分装置を標準装備

独自のコンパクトで強力な脱水分装置でGB内を乾燥状態に維持します。※  
※脱水分装置なしの仕様にも対応します。

### 窒素仕様

酸素を嫌う作業に適した窒素仕様も可能。

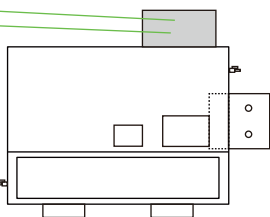


### HEPA フィルター

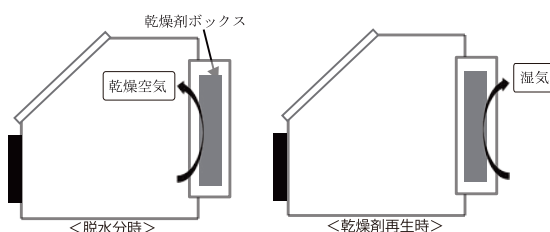
高生理活性薬剤の使用などに適した HEPA フィルター仕様も可能。

### オプション品

LED 灯、内部棚、露点計、湿度計、酸素計など各種オプション品に対応いたします。



### <脱水分装置の仕組み>



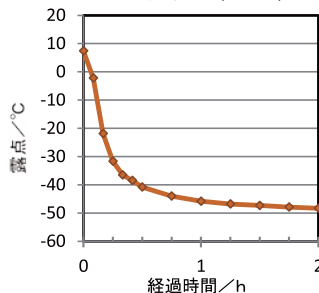
38年の実績がある防湿庫「DRY-CABI（ドライキャビ）」で培った技術を応用することで開発した高性能な脱水分装置でGB内を脱水分します。半自動制御による乾燥剤再生によって繰り返し長期間メンテナンスフリーでご使用いただけます。循環ポンプを使用しないので、コンパクト・低振動・低作動音・低消費電力。吸湿性材料・薬剤の取り扱いから高湿度を嫌う作業などに幅広く御利用いただけます。

## DRY-CABI-GB の脱水分装置は3タイプ

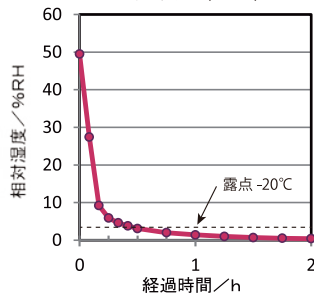
ST タイプ	E タイプ	SE タイプ
露点 $-40^{\circ}\text{C}$ 以下 強力脱水分装置でGB内を低露点化 価格：2,000,000 円～	露点 $-20^{\circ}\text{C}$ 以下（湿度 3%RH 以下） コストを抑えた仕様ながら急速脱水分が可能 価格：1,500,000 円～	湿度 10%RH 以下 気軽にお使いいただける廉価機 価格：1,000,000 円～

### 脱水分装置のタイプ別露点・湿度変化

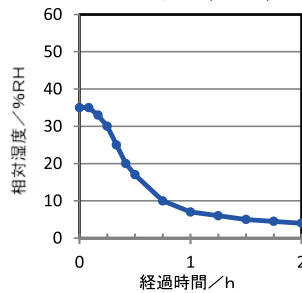
STタイプ (160L)



Eタイプ (70L)



SEタイプ (150L)



※1 脱水分装置のタイプとグローブボックス容量の大小で性能差があります。

※2 乾燥剤が吸湿してくると脱水分性能は低下します（再生をすることで復活します）。

### 主要納入先リスト

エーザイ(株) / 公立大学法人大阪大阪府立大学 / 国立研究開発法人情報通信研究機構 / (株)大阪合成有機化学研究所 / グンゼ(株) / 国立研究開発法人量子科学技術開発研究機構 / 栗田工業(株) / 国立大学法人神戸大学 / 公立大学法人兵庫県立大学 / 住友化学(株) / 国立大学法人広島大学 / (株)BLUE FORCE / (株)静環検査センター / マツダ(株) / 東洋紡(株) / ナガセ医薬品(株) / 日本板硝子(株) / ニプロファーマ(株) 等 (順不同、敬称略)

※詳細については、グローブボックス専用カタログをご請求下さい。または、ホームページをご覧ください。

<http://www.dry-cabi-gb.com>